

辻泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2008年4月18日 NO. 67

道路財源は福祉・教育にも配分を!!



← 神戸新聞
4月13日

道路特定財源 先陣切り論戦



兵庫選挙区
民主・辻氏

道路特定財源をめぐる与野党間の論戦が参院で始まった。十日の財政金融委員会で民主党の先陣を切ったのが、辻泰弘に立ったのが、辻泰弘参院議員(兵庫選挙区)。政府案が暫定税率延長を十年とする理由や、計五十九兆円の道路投資の詳細などについて問いただし、七省や財務省に文書の提出を求めた。国政調査権に基づく請求だが、以前なら理事会での与党の抵抗で発動できないことも多かった。昨年夏の参院選で状況は一変。「今までなら省庁側に逃げられていたものも、資料を出させることが可能になった」と手応えをにじませる。

党の「次の内閣」財務副大臣。質問準備などで深夜まで書類と格闘する日々が続く。ガソリン代が下がったのは国民が勝ち取った成果。再議決の阻止に全力を挙げる」と意気込む。

永田町から

ガソリン税は1リットルあたり約54円。その全てが道路にしか使えない特定財源です。

約54円の内25円が昭和49年に設定された暫定税率です。民主党は、用途を道路だけに限定せず、医療、福祉、教育などにも使えるよう主張しています。4月1日から暫定税率の期限切れによりガソリン価格は25円下落。政府・与党は、4月末に衆議院の多数の力で再引き上げ(25円の増税)強行をめざしています。

私、辻泰弘は、一般財源化の実現をはかるとともに、ガソリン価格再引き上げを阻止するため、現在、国会で全力投球しています。

朝日新聞 →
4月17日

「09年度一般化」合意と矛盾 再議決自民内にも異論

ガソリン税などを今後10年間、道路整備に充てるとした法案が16日、参院で審議入りした。「09年度からの一般財源化」という政府・与党合意と矛盾する内容だけに、与党内にも批判がある。ガソリン再値上げを巡る4月末政局を乗り切っても、福田首相には5月半ば以降、2度目の再議決を巡る攻防が待ち受ける。

「法案が成立しなければ、一般財源化は白紙か」「新たな5年間の道路整備計画を策定するなら、法案審議をストップすべきではないか」道路整備財源特例法改正案の趣旨説明が行われた16日の参院本会議。質問に立った民主党の辻泰弘氏は、政府・与党合意の疑問点を六つ取り上げ、福田首相に迫った。首相は「野党からの建設的

な提案を期待している」とかわしたが、辻氏は質問の中で首相の姿勢を揶揄した。「1人で勝手に空回りしておきながら他人に翻弄されたなどと言われても、甚だ筋違い。そんな愚痴をこぼす首相を持った国民の方が困ってしまう」政府・与党合意は、税制抜本改革時に道路特定財源制度を廃止し、最新の需要推計をもとに5年間の道路整備計画を作り直すなど、従来の道路政策を根本から変えるものだ。しかし、特例法案は道路特定財源を10年間、道路整備に充て続けるもので、辻氏はこの矛盾を突いた。

☆☆☆ ご意見・ご要望等は下記までお気軽にご連絡ください。 ☆☆☆